

1. 解社手当の全額は日債ノ二千円ノ純増ニ
但し本日後會社ノ他物も其ノ額ニ對シテ重役等ノ手取上納後
者ニ毎月一割ノ割合ヲ以テ控除ス
 2. 争議費用ハ會社ニ全額一割係トスル
但し悉親ノ費用ノ重役等ノ對シテ(全五十月)ト控除ス
3. 會社ノ他物規定ノ他物希少ノ者ニ對シテ其ノ額十分三使
用ス
 4. 他物規定ノ他物ノ條
- 争議解決ニ對シテ協定買主
(他物規定ニ代ハス)
- 一 工賃ハ旧規定ニ依リ且上引下ノ定率トス
 - 二 損耗品支給ノ條ハ旧規定ニ依リ且他物希少ノ者ニ對シテ其ノ額十分三使
用ス

- 三 機械器具ノ小修理ハ協定買主ノ負担トス
- 四 不良生産品ニ對シテ其ノ額ニ對シテ重役等ノ負担トス
- 五 小道具中ノ「ヤチ」ハ協定買主ノ負担トス
- 六 電力及機械ノ故障等ノ不可抗力ニ依リ作業ノ休止ノ場合ニ
於テ手当無ク是前ノ規定ニ依リ
- 七 會社ノ都合ニ依リ休業日ニ對シテ手当及毎月ノ定休日毎
ノ作業時間等ハ是前ノ規定ニ準用ス
- 八 本會社ノ都合ニ依リ解社手当規定ノ手当金ノ一切
本會社工場施行令ニ規定スルニ依リ
- 九 是レ事ハ協定買主ノ上乗十分三使用ス

附

今後本會社ノ協定買主ニシテ如何ナル名義ノ労働協定書ニ
加入スル場合ハ本會社ノ承認ヲ得ズルニ依リ